

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

開業医に復帰して一年余の雑感

山 崎 雅 裕

(医療法人 木下医院 院長)

昨年8月に7年半ぶりに木下医院に復帰した山崎です。7年の間に浪速区医師会に新入会された先生もおられますので、少し自己紹介させていただき、開業医に再復帰後の感想を述べさせていただきます。

平成7年に、奈良の県立病院から木下医院に移り、平成19年から奈良県天理市の社会医療法人 高井病院 心臓血管センター 循環器内科に替りましたが、平成26年7月に木下医院の前院長(私の義父 木下 為弘)が脳梗塞で倒れたため、同年8月にやむなく復帰し、現在に至っています。会員の皆様には、今後ともよろしく申し上げます。

私の在籍していた高井病院についても一言述べさせていただきます。天理市の片田舎に構える病床数370余りの病院です。近くには病床数815の天理よろづ相談所病院が控えています。高井病院は非常にユニークな病院で、最新の医療機器を奈良県(日本?)でも早期に導入して、短期間に原価償却を終え、version upしていきます。循環器では、患者さんが紹介あるいは飛び込みで受診されても、ほぼ1日で、胸部レントゲン、ECG、血液検査は当然として、本来は予約が必要な冠動脈CT、UCG、ABI、トレッドミル負荷心電図等もその日に検査可能です。また、冠動脈CT検査

時には、他の動脈(大動脈、頸動脈、腎動脈、下肢動脈)や腹部も同時に検査可能なので合併症等の検索もできます。検査を終了後に、ほぼ診断がつき、患者さんに今後の検査・治療方針を示すことができます。私にとっては、ある意味、理想的な病院でした。

大阪に戻ってからは、3つのギャップに戸惑いを感じています。①開業医と病院に通う患者さんの意識の違い、②奈良と大阪の県民性の違い、③大阪のいわゆる大病院に通院されている患者さんが意外と不満を持っておられることです。

高血圧を例にとりますと、2014年の高血圧のガイドラインでは、家庭血圧を優先すると記されていますので、前病院時代は、高血圧患者さんには、家庭での血圧測定をお願いします。お願いした大部分の患者さんが血圧を測定し、その大部分の方が血圧手帳を持参して下さるので、その情報を治療にfeed backし、その大部分の方が、ガイドラインに準拠した血圧のコントロールできます。

大阪に戻って、開業医の立場で、家庭血圧測定をお願いを試みましたが、血圧を測っていただけるのは半分以下で、継続して血圧手帳を持参いただけるのは、その半分以下です。その患者さん達は少数ですが、血圧のコントロールは良好です。これは、①の病院・医院志向の違い、②の県民性のどちらかか、ある



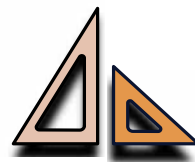
いは両方に起因すると思われます。

③に関してですが、最近経験した症例です。大病院の循環器内科に定期的に通院中の患者さんで、著明な下腿浮腫を訴えておられるのに、利尿剤を処方するだけで、全然浮腫が改善もしないのに、放置され続けて、当院に受診されました。また、別の患者さんで、冠攣縮性狭心症(患者さんの話による)の診断で循環器内科を受診されているにも関わらず、胸痛が持続、でもここ数年、処方の変更もされず、当院でグチを言われる患者さんもおられます。脂質異常症の患者さんで、2～3か月毎に病院を受診し、担当医が血液検査を見て、「いいですよ」の一言で診察が終わると不満を訴える患者さんもおられます。前立腺癌疑いで泌尿器科に紹介した患者さんは、担当医は前立腺癌は否定されましたが、はっきりとした診断名も告げないで、いきなり入院・手術の話を持ち出され、不信感も持たれ拒否されました。後日、担当医の先生から別の病院で治療をしてくださいとの開き直りともとれる返事が届きました。患者さんは、私の見る限り、物事をわきまえた常識人でした。大阪の大病院ですと、一医師あたりの担当外来数も多いことが一因でしょうが、専門に関わる症状にはもう少し丁寧な対応が望ましいと思います。前回の開業時代に比べてこういった症例が増えている気がします。

今後は治療の専門性がより求められるかもしれない状況下で、紹介が必要な場合は、紹介先の病院をよく吟味すること、開業医としては、患者さんの訴えをしっかりと聞き、わかりやすい説明をするというごく当たり前の結論に辿りついた次第です。

とりとめのない話になりましたが、開業医に復帰して1年余りに感じたことを綴ってみました。

理事会報告



◎平成 27 年度 10 月定例理事会

日 時 平成 27 年 10 月 30 日〈金〉

午後 8 時～9 時 30 分

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 郡市区等医師会マイナンバー制度担当理事・事務局合同説明会(11月12日〈木〉14時)への出席者について

＜佐久間会長＞

標記出席者を決めたい。開催場所はシェラトン都ホテル大阪4階浪速の間。

協議の結果、澤井副会長、岡藤理事、岩城事務長に決定。

2. 第40回大阪府医師会社会保険指導者講習会(12月4日〈金〉13時30分)への出席者について

＜佐久間会長＞

標記出席者を決めたい。開催場所は府医2階。

協議の結果、佐久間会長、澤井副会長、橋村理事に決定。

3. ブルーカード管理システムの更新について

＜久保田理事＞

キャノン ITS メディカルから導入しているブルーカードのデータを管理するシステムに機能を追加しバージョンアップしたい。

協議の結果、了承。

4. その他

なし。